

2092年には、3月19日が春分の日になる見込みです。

昼間の長さ

さて、秋分の日、春分の日は昼と夜の長さが同じになると言われていますが、実際のところどうなのでしょう。

科学館発行の「こよみハンドブック」を見ると、秋分の日の大阪の日の出は5:46、日の入りは17:54なので、昼間の長さ12時間8分、夜の長さは11時間52分となり、昼の方が夜より16分長いということになります。秋分の日を過ぎた9月27日頃によく昼夜が同じ程度の長さになります。

これは、一つには日の出・日の入りの定義のためです。日の出とは太陽の先端が地面に見えた時、日の入りは先端まで地面に沈んだ瞬間をいいます。このため、昼の長さは太陽の直径分だけ長くなることとなります。

また、もう一つ大気差と呼ばれる現象にも原因があります。これは、地球大気により光が曲げられて、太陽が浮き上がって見える現象です。このため実際には地面の下にあるのに、地平線の上に太陽が見えることとなります。浮き上がる量は、だいたい太陽1個分程度の大きさです。

この2つの効果によって、秋分の日、春分の日とも昼間の方が少し長くなるのです。

同様の理由で、秋分の日、春分の日であっても、正確に言うと太陽が真東から昇って真西に沈むわけではありません。

シルバーウィーク

国民の祝日に関する法律第3条第3項では、「その前日及び翌日が『国民の祝日』である日は、休日とする」という規定があり、前後を祝日に挟まれた日はオセロゲームのように休日になります。もともとは5月4日を休みにするために制定されたものでしたが、2007年から5月4日はみどりの日という祝日になっているため、この法律が適用されることはなくなりました。

しかしハッピーマンデー制度により敬老の日が9月第3月曜日となったため、思わぬ形でこの規定が適用されることがあります。

具体的には、9月第3月曜日が20日で秋分の日が22日、または第3月曜日が21日で秋分の日が23日の場合に、挟まれた日が休日になります。土日と合わせると5連休になるため、5月のゴールデンウィークに対してシルバーウィークと呼ばれることもあります。

2009年に初めてこれが実現しました。この制度が維持されれば、次回は2015年に秋の5連休が実現する予定です。

江越 航 (科学館学芸員)